（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	コペルプラス西船橋教室			
○保護者評価実施期間	2026年　8月　1日	～	2026年　9月　5日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32	（回答者数）	31
○従業者評価実施期間	2026年　8月　1日	～	2026年　8月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年　9 月　15 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人一人に合わせたレッスンを行っていること。	定期的な面談やレッスン後のフィードバックの際に、お子さまについて保護者の方とお話する時間を設け、情報共有を図っております。職員間でもケース会議を定期的に行い、一人一人のお子さまについて共通認識を持ってレッスンに臨めるようにしております。	「教材に合わせてレッスンを行う」のではなく、「教材を使って一人一人のお子さまの特性に合わせたレッスンを行う」という意識のもと、専門性のあるレッスンを心掛けてまいります。今後も職員間でのカンファレンスの強化に努め、教室全体で一体感を持ってお子さまのレッスンを行ってまいります。
2	小学校就学へ向けて、いろいろな支援を行っていること。	お子さま一人一人に合わせた支援ができるよう、教室全体で共通理解を図り、支援方法を考えています。また、就学のための保護者会や、コミュトレで保護者の方同士でお話できる時間を設け、悩みを一人で抱え込まずに、みんなで共有していくことを大切にしております。当事者同士だからこそ分かり合える場として好評です。	年長さんの集団レッスンでは、自分の荷物は自分で整理したり、挙手して発表したり、就学を見据えたレッスンを行っております。個別レッスンでも、「鉛筆でお名前が書けるように」「数字を読めるように」など、保護者の方の要望に合わせた課題も取り入れ、少しでも安心して就学を迎えられるようお手伝いをさせていただきます。また、ご要望があれば、就学先へ提出する「引き継ぎ書」の作成もおこなっております。
3	毎回、保護者の方にレッスンを見学していただき、レッスン後すぐにフィードバックの時間があることで、情報共有を図ることができ、ご家庭と同じ方向を向いて支援を行うことができること。	当教室では、どのレッスンも保護者の方に見学していただいております。見学していただくことで、お子さまの反応や指導員の関わり方などを直接見ていただくことができます。さらにレッスンの後にすぐフィードバックの時間があることで、「お子さまのここが伸びてきている」ということを保護者の方とすぐに確認することができます。	指導員と保護者の方が直接話せる貴重な時間なので、これからもフィードバックの時間を大切にしてまいります。また、レッスンのお時間以外でも気軽にいつでもご相談いただけるよう話しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。常に保護者の方と同じ方向を向いて支援が行えるよう、普段からのコミュニケーションを大切にしてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラム内容に慣れがでてきてしまっている。	コペルプラスでは、月毎に教材が入れ替わるため、常にお子さまに楽しんでいただけるようになっています。それでも、毎回のレッスンで行う固定された課題もあるため、長く通っていらっしゃる方には、慣れも出てきてしまうかもしれません。お子さまに合わせて、好きな教材をプラスで取り入れるなど飽きない工夫も行っております。	同じ教材でも発達段階に合わせて、提示の仕方を変えるなど、飽きることなく取り組めるように工夫してまいります。日々、成長していくお子さまの様子に合わせて、その時に最適と思われる課題と取り入れていくなど、教室全体で課題内容を見直したり、支援内容を工夫したり、お子さまが飽きずに取り組めるよう努めてまいります。
2	保育園へ様子を見に行ってもらえるような取り組みがあることを知られていなかった。	そのような取り組みがあることを、契約手続きの際にはお伝えしておりましたが、周知できておらず申し訳ありません。保護者の方からご要望があった際には、お子さまの通う園へ児童発達支援管理責任者が訪問し、活動を見学させていただきます。その後、園の先生方とお話する時間を設けていただき、情報共有を図っております。	引き続き、保護者の方からご要望があった場合には、園との連携を図ってまいります。また、そのような取り組みがあることを面談やフィードバックの際に保護者の方にしっかりとお伝えし、周知を徹底します。お子さまのよりよい成長のために、私どもの教室とお通いになっている園が同じ方向を向いていけるよう努めてまいります。
3	環境面について ・運動できるスペースが少し狭い。教室は問題ないが、広場は数人集まって運動するとなると、窮屈そう。もう少し広い方がのびのびと運動できると思う。 ・入り口の自転車置き場に段差があり危ない。 という意見をいただいた。	教室を運営する上での基準は満たしていますが、確かに活動の内容によっては窮屈さを感じることもあるかもしれません。また、自転車を置いていただくスペースに段差があるのは承知しておりますが、ビルのオーナーの意向でスロープ等を設置するのは難しくなっております。	ご不便をおかけして申し訳ありません。限られたスペースを最大限活用しながら、お子さまにとって楽しい活動を考えてまいります。自転車を停める時など、手が必要な際はいつでもお声がけください。職員がお手伝いさせていただきます。引き続き、安全面に考慮し、怪我につながらない環境を維持してまいります。